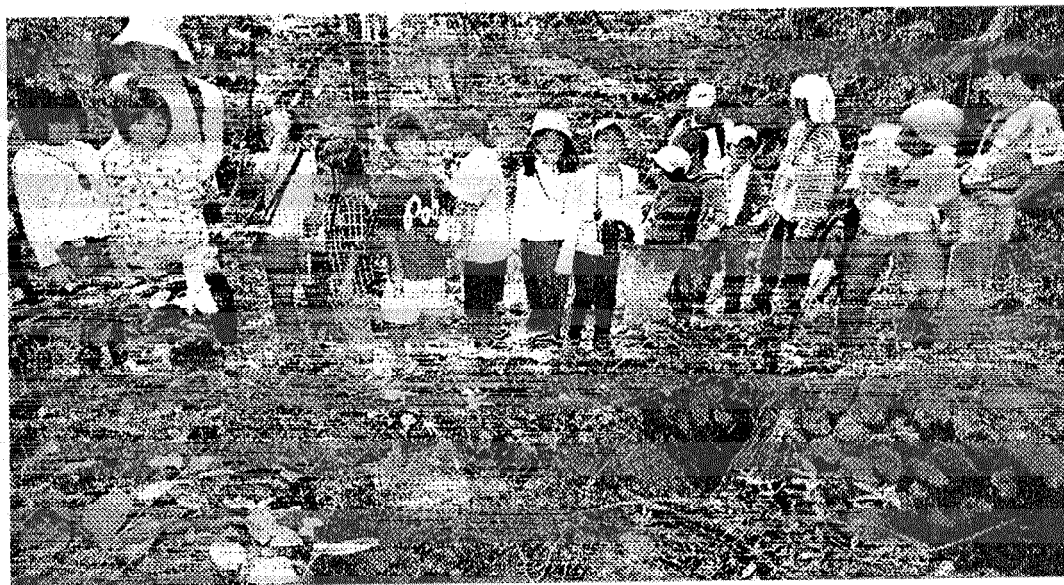


わき水探し「利き水」も

東山 子どもら100人が参加



わき水を探索する子どもたち―東山区の清水寺で

清水寺・音羽の滝や伏見・御香水など

子どもたちに水や環境について関心を持ってもらおうと、「子ども水フォーラム」と子どもの

「まち」をテーマに話し合われた。米山俊直・大手前大学長が「世界の大部分の子どもは水くみなどの重労働を行っている。日本の子どもたちも両親のお手伝いを通じて

子ども水フォーラム」に向けたイベントとして行われた。

嘉田由紀子・京都精華大教授が司会を務めた対談では、「子ども」「水」

水のかかわり方を学ぶことが必要ではないか」と話し、木下勇・千葉大助教授は「水辺を昔のよ

うな自然な形に戻すと、子どもたちも活発的になると思う」と述べた。
大津市大谷町の土屋慧歩君(8)「大津市立藤尾小2年」と憧真君(6)「同1年」は兄弟でイベントに参加。水を探しために登った裏山では、「こんなところにわき水があった」「水がおいしい」とほしゃいでいた。
【平野圭祐】

世界水フォーラム '03